

第六項 ヲ三ヶ月ニ讓步

第七項 三田日活新館、従業員ハ爭議解決後直ニ本社ニ引

取ル

第八項 承認

第九項 ニヶ月後月給制トスル

第十項 取締規則等ノ關係ニヨリ回答書簡トス

第十一項 出来得ル限りノ字句ヲ削ル

之レヲ携ヘ再ニ會見ノ上原田支配人ヨリ提示說明セリ

右議案ニ對シ中田ヨリ

第一第二ヲ除外他ハ従業員ヨリ細部ニ亙ル要水ノアル事ヲ信

スル故本日解決ノ自由ヲ有セス 且第一第二項ハ而モ本要

水ノ主眼ヲアリフトキニキル化ニヨル失職防止策トモ云フヘ

キ重要問題ナリ 然ルニ要水ト會社案トハ大ナル懸隔アリテ

到底承認不可能ナルカ一先従業員一同ト協議ノ上明日午後一

時ヨリ會見スヘト述ヘ午後三時五十分會見ヲ終了セリ

ハ爭議團側ノ張況

五月四日

五月四日午前十時三十分ヨリ神田日花房町ハ會社東京俱樂部
ニ於テ日活日興従業員(樂士及樂士並女給ノ一部)大會ヲ開
催 一般報告トシテ概論ヲリ

昨日ハ五月一日ノ孔門事件ノ抗議、爲メ自由法管団中村界

護士外三名ト徳永、加藤、東、小澤計ハ各カ警視廳並ニ四

谷、西神田 象潟各署長ヲ訪問シ不當ナル檢束拘留ニ對ス

ル抗議ヲ爲シ出来得ル限り速カニ釈放方ヲ申込ミタル爲メ

釈放ニテハ夕者ニマル未夕釈放セラレサル者ニ對シテハ今

後引續キ抗議ヲ爲ス方針ヲマル

ト述ヘ 次テ川合某ヨリ慰問班ノ一般報告トシテ

四谷 西神田 象潟等ニ檢束或ハ拘留セラレタ方々、家族慰

問隊五班ト特別隊一組ヲ編成シ各家族ヲ慰問シタカ残リハ